

# 多様な需要グッズも続々



中越地震を機に、災害関連商品の開発に力を入れる企業が増えている。県内企業の新商品開発を支援する「こにいがた産業創造機構」は二〇〇五

現在、防災関連の商品開発に取り組む県内企業は十社を超え、三十近い商品が生まれた。非常食のほか、避難所でのプライバシーを確保する紙

病人用非常食・光る手すり…

## 被災を機に

## 新商品開発

県内企業

年に「防災・救災産業研究会」を創設。業種を超えた横の連携で新しい商品開発を試みる一方、首都圏で展示会を開き全国へもPRした。

同機構は「防災への関心の高まりを背景に、今後も開発に取り組む社は増える」とみている。

製造仕切り、停電時に光るLEDを用いた手すりなどが開発された。被災者の多様なニーズに応える商品も目立つ。エコ・ラ

バックに湯を注ぎ、封をして約15分。温かく柔らかい「ご飯」が出来上がる「新潟はんぶん米」＝長岡市脇川新田町のエコ・ライス新潟